



ボランティア部門
《食育推進ボランティア》

農林水産大臣賞

やまがた食育ネットワーク

(山形県) 活動期間 13年

～会員それぞれの活動が会員みんなの活動に～ 山形の魅力ある食文化の特性を活かして「健康で豊かな食生活」の実現を目指す活動

会員相互が協力し 学び合う活動

会員がそれぞれ取り組んでいる食育活動に対し、サポート協力を行っています。会員同士がお互いの専門分野において、スキルの提供や食育の啓蒙などを行うことによってつながりを深め、多様な取組を共有し、経験することによって学び、さらに食育推進の広がりを生む活動を行っています。



食農教育
ほつれん草の収穫

在来作物料理 親子教室

行政主導から独立 運営のカギは情報共有と発信

本会は、東北農政局山形農政事務所（当時）が県内全域に食育のネットワークの構築を図るため、食育を実践している個人や団体を集め発足しました。その後、行政の指導のもと2年の活動期間を経て独立しました。会員には行政関係者も含まれており、助言を得ながら地域全体での食育の取組を推進しています。本会の運営に当たり最も重要なのは「情報の共有と発信」。会員制の限られた予算の中、会議室の提供等、企業会員の協力を得ながら活動を実施し、役員を中心に会報誌の発信も行っています。



情報発信
手作りポスター

全体会の様子

ネットワーク全体活動

年1回全体会を実施するほか、平成20年から継続して「やまがた健康フェア」に食育ブースの出展を行っています。平成22年には、山形発長編ドキュメンタリー映画「よみがえりのレシピ」の制作を支援（本会の代表が制作委員会会長）、また、山形新聞社地域貢献事業「西村山けんこう塾」において、平成24年より継続して講演・県産食材を中心とした試食提供を行っています。また、山形県の食育関係推進会議メンバーにもなっています。



やまがた健康フェア

「西村山けんこう塾」
での講演

本会の活動に対し、このような賞をいただき大変感謝しております。今後も、食育・健康づくり推進のため、会員相互の連携を深め、地域貢献と「豊かな山形の食文化・魅力ある日本の食」を伝える活動を行ってまいります。



やまがた食育ネットワーク
代表 岡田 まさえ